

平成 30 年 9 月 13 日

庄野 京子

発議第 3 号 山北町議会議員の定数を定める条例の一部を
改正する条例の制定について反対討論

町議会は住民の声を町政に反映する町民の代表機関です。

町議会と議員がどんな姿勢で地方政治に望むのか、そのあり方が問われていると思います。私は住民の苦しみ痛みに心を寄せ住民の意志を無視した行政をきちんとチェック出来る力量と清潔さを持つ議会、住民の多様な意見が活発に議論され、住民要求実現のために働く議会を目指します。

「人口が減っているから議員をへらすべきだ」私は人口が減っているから議員も減らすべきだと言う考え方に疑問を感じます。やみくもな議員定数削減は住民の声を議会に反映する道を閉ざす民主主義への逆行です。

「議員を減らせば町の財政が助かるから」それ自体安いとは言えません。しかし町全体に占める割合は 1.9%です。

山梨学院大学の江藤俊明教授が議会改革は地域民主主義充実が目的で一定のコストがかかる。議員削減論争の現状を議会の自殺行為と厳しく指摘しています。

「サラリーマンと比べて議員は働いていない」サラリーマンは企業のため、家族を養っていくために働いています。議員は住民を代表して議会の権限を行使して地方自治体の意志決定を合意によって行います、議員は住民のために日々働きます、働く内容と時間がちがいます。

以上